

一年学年だより

No. 10

1月号

令和2年12月22日発行

108HR

気持ちを伝える・受け取る

コロナの感染拡大により、さまざまな変化のあった2学期も、無事、終業式を迎えることができた。学校生活、プライベートともに充実した学期になっただろうか？少し私的な話になるが、我が家は2歳になったばかりの息子と格闘の日々を過ごしている。時にはなぜ？と思うような行動もしばしば・・・習性その1、止められるまで永遠とこたつの周りを走っている。習性その2、いつの間にか静かになっている時、ふと見るとでんぐり返しのポーズで押してくれるのを待っている。(右図) 習性その3、寝ていると鼻を攻撃してくるので油断ができない。習性その4、寝る時の姿勢はなぜか土下座。などなど・・・おもしろい一面をいつも見せてくれる一方で、日頃不思議に思うことがある。それは、言葉はまだ話せないのに、こちらの伝えたいことは伝わっているようだ、ということである。例えば、「あれを取ってきて。」とお願いすると、ちゃんと取ってきてくれる。(機嫌がよければ) いたずらをして叱れば、バツの悪い顔をして少し遠めからこちらの様子をうかがっている。まだ身の回りの物の名前も十分に話せないのに、こちらの意図することを汲み取れるというのはどういうことなのだろうと不思議に思う。それと同時に、彼が何を伝えたいのかを考えるのはおもしろくもあり、非常に苦勞することでもある。(かんしゃくを起こした時は、大抵食欲を満たしてやると解決するのだが・・・) 自分のことを振り返ってみると、気持ちや意志を明確に伝えるということは、日常生活の中でも非常に重要だ。仕事をする上でも伝えるべきことをしっかりと他者に伝えないと連携が取れず、組織として成り立たない。皆さんもこれからCP等を使って小論文の書き方を学ぶことになると思うが、この時も自分の主張をいかに説得力のあるものにするかを練習していくわけである。このように、日常生活の中で自分の気持ちや意志を発信する場面は多く訪れる。しかし、発信することばかりに気を取られていると、受信することが疎かになってハッとすることがある。みなさんの家族、友人など、身の回りの人の発信する情報に気を配れているだろうか？時には明確な信号ではないかもしれない。それをきちんとキャッチできているだろうか？年末年始、家族と過ごす時間も多くなると思うが、自分の情報を発信するだけでなく、相手の発信する情報をキャッチするアンテナも錆びつかせないようにしたいものである。



(108HR担任)

『流れ星を見たかい』

先日(12月13日の夜)に双子座流星群が見られるとニュースで知って、結構長い時間夜空を見ていたが、結局何も見られなかった。皆さんは「流れ星に願い事を3回唱えれば願いが叶う」という迷信を知っていますか。どうやら元々はキリスト教文化の伝承話の一つらしい(キリスト教由来の伝承話は複数ある。他にも多くの国で流れ星の伝承話があります)。ひまな神様が時々天界のカーテンを少し開けて下界の私たちを見ているんだそうだ。その時にカーテンの隙間から天界の光が漏れるのが下界の人間には流れ星に見えるらしい。そして天界のカーテンが開いているのでその時に願い事を言えば神様に聞いてもらえるということらしい。それにしても、みんなは流れ星が流れる一瞬にすぐに3回も唱えられる願いごとってありますか。普段から相当強い思いを持っていないと唱えられないと思います。私なら「金!カネ!money!」かな。なんて夢のないおじさんだ。さあ、みんなは大きな願い(夢)を強く思いながら新年を迎えてほしいと思います。そして人間は、願い(夢)が大きく強いほど自然と努力するものだ、と信じています。



(108副担任)